

千葉県警による 新たな弾圧組織反皮 壊攻撃 を、怒りをこめて弾劾する！

千葉県警は、今、何故に二年も前の裏切り分子「本部派佐倉支部」・小川建二への糾弾・追及行動を「監禁強要」としてデッチ上げ任意出頭攻撃を行ってきたのか。

第一に、右傾化・産報化する日本労働運動の中で、「三里塚を闘う労働運動」は、三・六集会二〇〇名、三・二八集会に二六〇〇名に見られるようにわが動労千葉を先頭に確実に、全国の闘う労働者的心をとらえ、共感と連帯と決起をつくり出している。

体制的危機をますます深める政府・権力は、壮大な労働者階級本隊の総決起を、わが動労千葉の闘いの中によみとり、これを芽のうちにしみ取ろうとする新たな動労千葉破壊攻撃をかけてきたのである。

第二に、わが動労千葉に対する権力の階級的にくしみを込めた不当弾圧攻撃である。

わが動労千葉のこの二年余の闘いは、およそ、戦後労働運動では全く考えられなかつたような反動攻撃との闘いであつた。

この間の「本部」革マル反動分子との激しい組織闘戦。

八一・三ジエットストの貫徹。そしてこの歴史的闘いに対する四名の解雇・二二五名の大量不當処分。六・一二デッチ上げ告訴・不当逮捕・起訴攻撃。そして、三・二七不当家宅捜索など。

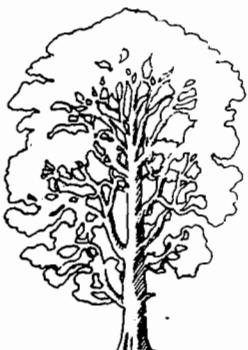
われわれはこうした国鉄当局・権力・「本部」革マル反動分子一体となつた密集した反動に対し、その都度、全力で反撃し、敵の攻撃を一つ一つ粉碎し、前進してきたのである。

全組合員の皆さん！

今回の権力の「任意出頭」攻撃を絶対に軽視してはならない。

権力・動労「本部」革マル反動分子一体となつた動労千葉破壊の狙いを見すえ、全力で反撃しよう。

全力で不当弾圧を粉碎しよう



第三に、今日の「国鉄労働者国賊」「ヤミ・カラ・悪慣行」キャンペーン、「行革」・第二臨調攻撃に国労・労働などが総屈服する中で、権力は

組合員・家族の強固な組織で破壊攻撃を粉碎せよ！

日刊 動労千葉

82.4.15
No. 1020

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五七六・(公衆)四七二二七二〇七